

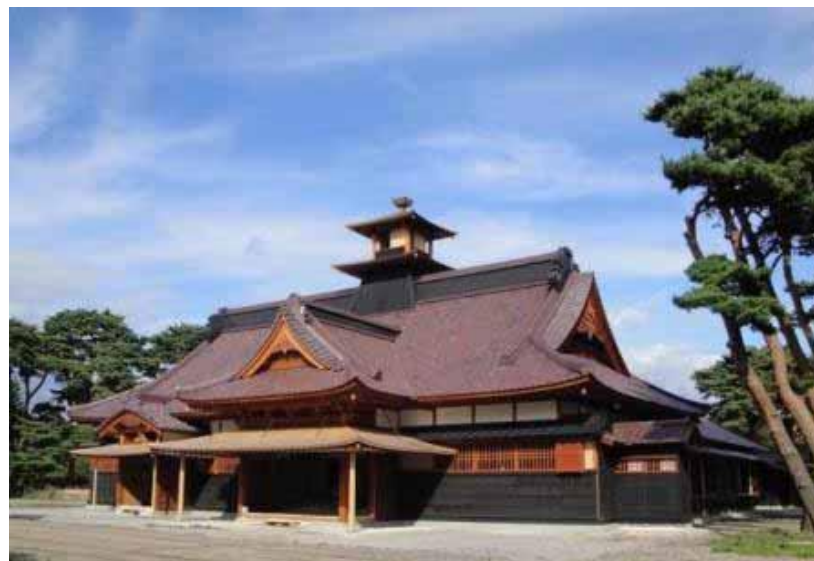
# 箱館奉行所

## 箱館奉行所のオープン

函館の観光スポットとして、人気を集める国指定特別史跡『五稜郭』

幕末の日米和親条約の締結による函館港の開港に伴い、幕府が『箱館奉行所』設置し、蝦夷地統治の中心的役割を果たしていました。しかし、箱館戦争後の1871年(明治4年)には、札幌に開拓使本庁舎を建設するために、多くの木材が必要なことから、五稜郭内の奉行所をはじめとする建物の大半が解体されました。

日本史における幕末期から近代国家幕開けの1ページとして欠くことのできない五稜郭の歴史を、より理解していただける新たなスポットとして、今夏、幕末に蝦夷地統治の中心的な役割を担っていた『箱館奉行所』が、古写真、建設当時の絵図面、文献などの史料のほか、発掘調査のデータを基に、可能な限り、当時と同じ材質・工法を用いて五稜郭内に復元されます。



開館日：平成22年7月29日

開館時間：4月1日～10月31日／9:00～18:00

11月1日～3月31日／9:00～17:00

休館日：12月31日～1月3日

入場料：一般／個人500円，団体(20名以上)400円

学生・生徒・自動／個人250円，団体(20名以上)200円

小学校就学前 無料

所在地：函館市五稜郭町44-3(特別史跡五稜郭跡内)

アクセス：市電／「五稜郭公園前」下車。徒歩15分

建築面積：1,033.38㎡ 延床面積：979.40㎡ 最高高さ：約16.5m

問い合わせ先：函館市教育委員会生涯学習部文化財課

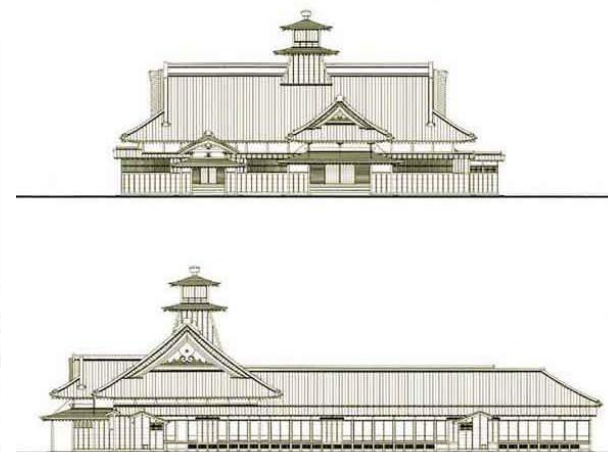
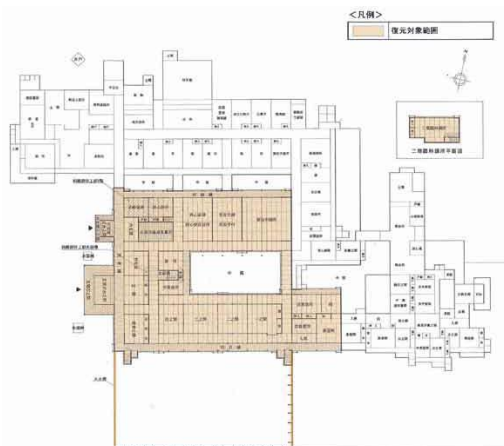
TEL：0138-21-3456

# 箱館奉行所

## 箱館奉行所の規模

幕末の日米和親条約の締結による函館港の開港に伴い、幕府が設置した奉行所。箱館奉行所庁舎は、公的な役所部分と奉行の役宅となる奥向を合わせ面積約3,000㎡の規模を誇っていました。

復元にあたっては、古写真、建設当時の絵図面、文献などの史料のほか、発掘調査のデータを基に、可能な限り、当時と同じ材質・工法を用いて、全体面積約3,000㎡のうち、庁舎の主要部で写真撮影されている棟を中心とした約1,000㎡を復元しました。





# 箱館奉行所

## 展示内容

### 1. 導入ゾーン

- インフォメーション
- モニターによるガイダンス映像放送

### 2. 再現ゾーン

- 純和風建築空間の再現展示

### 3. 歴史解説ゾーン

- 行灯(内照)型グラフィック什器による奉行所設置時の歴史解説  
※次ページ参照
- PCモニタ内蔵什器による五稜郭・箱館奉行所の関連人物紹介



- ・人物ごとにICタグ埋設の駒を作成
- ・駒を指定箇所に移動することによりPCが反応、経歴や関連画像を表示

### 4. 映像ゾーン

- 映像シアター：「箱館奉行所復元の記録」  
「五稜郭と箱館奉行所の歴史」



### 5. 復元解説ゾーン

- 復元工程の解説(絵図等資料の分析～発掘調査～復元)
- 建築関連出土遺物の展示(瓦等)
- 箱館奉行所クイズ・建築データベースの解説(PC設置)
- 建築技術(継手・仕口)の体験展示
- 箱館奉行所骨格模型の展示・解説



発掘調査(遺構写真)



出土遺物(瓦)



継手

### その他

- 御役所調所(歴史解説ゾーン)  
天井開口による敷梁(丸太材)の展示
- 太鼓櫓(階段入口部)：和太鼓展示、音響設備による時報
- 内玄関：玄関遺構で発掘した甕を展示
- 希望者に外国語音声ガイダンス機器提供(携帯プレーヤー)



遺構出土甕

# 箱館奉行所

## 3. 歴史解説ゾーン

### 1. 箱館開港～五稜郭・弁天台場の築造

- 箱館に來航した世界の列強～奉行所の再置
- 箱館の防衛都市計画概要
- 五稜郭・弁天台場の設計／構造／関わった人々

### 2. 世界の五稜郭

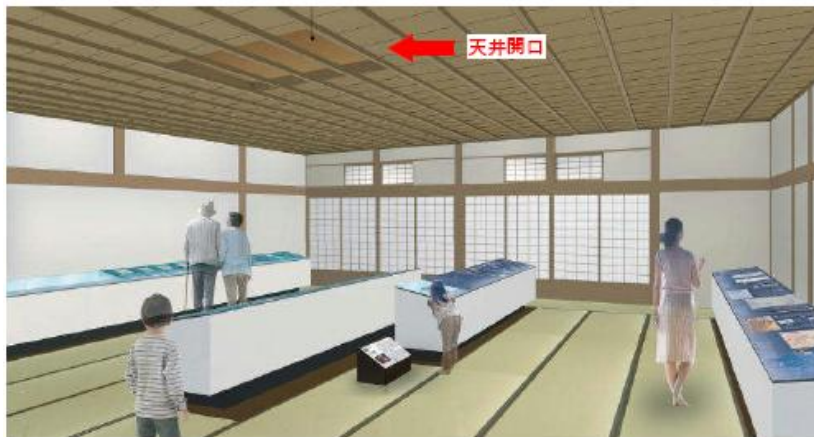
- 世界に多数存在する稜堡式城郭（世界地図／稜堡式城郭の写真）

### 3. 箱館奉行所

- 箱館奉行所の概要／仕組み／階級・歴代奉行の紹介
- 主な職務／産業・経済の振興／西洋技術の導入
- 奉行の生活紹介／発掘された生活用品の展示

### 4. 箱館戦争

- 箱館戦争の概要
- 箱館戦争開戦～五稜郭占拠～蝦夷地領有宣言
- 砲弾などの実物展示
- 乙部上陸～箱館総攻撃～旧幕府脱走軍の降伏



展示イメージ（御役所舘所）

行灯型グラフィック什器(D 60×W 180×H 65 cm：グラフィック傾斜角度9.5°)

